

# 全国広報コンクール2部門入選 4年連続受賞。広報企画は初。



自治体広報の取り組みが審査される「全国広報コンクール」。平成28年の結果が5月10日に発表され、広報みよし8月号が広報紙部門で入選。三芳町広報大使の吉澤ひとみさんと埼玉県出身のJuice=Juice、金澤朋子さんが無償で一日編集長を協力、町内企業の世界的レンズメーカー「ケンコー・トキナー」、広報みよし多言語化協力の株式会社モリサワらと『予算0円』で展開した、各コンテンツを連動させた広報企画が評価され、広報企画部門で初入選を果たしました。

## 広報みよし平成27年8月号 トカイナカ特集

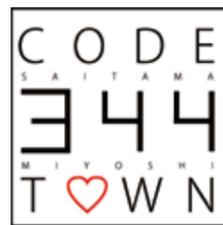
【講評】特集は、三芳町の魅力を楽しく訴求されている。食・環境・仕事・住民の4つの訴求情報で紙面が構成され、多くの住民が誌面に登場している。自治体と住民の一体感が感じられる紙面編集である。「広報紙は住民へのラブ・レター」と、てらいもなく語れるほどの担当者が編集すると、こんなふうになる、という見本のような広報紙である。しかも、「おたよりだよ」というページもあって、ラブ・レターへの返事まで読むことができる。担当者自身が楽しみながら、斬新な企画と表現方法にチャレンジをしている。若い読者を巻き込みながら、広報紙の新たな読者を開拓しようという取り組みが成功していると感じる。若い人の目線、多様な産業からの視点が盛り込まれ、生き生きとした暮らしが描かれている。各情報にはQR・ARコードが表示され、広報紙が住民の生活環境に対応した情報発信の場となっている。



## 広報企画部門「入選」。ふるさと三芳町&埼玉県のため全面協力中！

【講評】町をPRできる素材をすべて使った展開力を評価した。それぞれがよくできているだけでなく、それを有機的に関連させて、ひとつのキャンペーンに仕立て上げているプロデュース能力をとりわけ高く評価したい。予算をかけずに広報大使のアイドルタレントの協力を得たり、町内に立地する有力企業と連携したり、巧みな企画力でそれぞれの特性を引き出し、かつ連動させている。地域出身の有名人を広報に活用する取り組みは多くの地域で行われているが、本プロジェクトは、有名人活用を単発では終わらせず、どのように知名度向上を図るかをメディア連携により、ソーシャルメディア活用も視野においた展開ができています。有名人を素材として考えるのではなく人として遇することの意義も理解できる。写真の訴求力を駆使した広報紙面なども含め、担当者の広報力の高さを特に評価したい。

### 予算をかけず三芳町の「FAN=FUN」を増やす戦略



☎ 秘書広報室  
☎ 258-0019 (内線312)

三芳町出身で広報大使を務めるモーニング娘。OGの吉澤ひとみさん。ふるさとのために無償で三芳町のPRに尽力してくれています。また、地元企業も町の活性化のために協力。三芳町のFAN=FUNを獲得するため、CODE344(みよし)と銘打った「予算0円」のできるプロモーションを広報担当チームで展開中です。



三芳町広報大使  
モーニング娘。OG  
吉澤ひとみさん

埼玉県出身  
Juice=Juice サブリーダー  
金澤朋子さん

三芳町 Facebook 公式アカウント  
いいね三芳町 検索

フォトニュースに掲載しきれないイベントや写真は町のFacebook「いいね！三芳町。」で配信中。ロゴがあるイベントは関連した情報などをFacebookで公開しています。

フォトニュース Photo



## 子どもが主役の一日 町の子子どもが大集結

### 子どもフェスティバル開催

この日は子どもたちが主役。5月14日(土)、総合運動グラウンドで子どもフェスティバルが開催されました。『主役』を盛り立て、楽しんでもらえるように各地区が趣向を凝らしたイベントを企画。缶釣りやマンカラ作り、輪投げ、コマ回しなど、各所で夢中になって遊ぶ子どもたちの姿が見られ、地域の絆を感じる祭典となりました。



↑子どもが子どもにマンカラの作り方を教える微笑ましい光景も。

↓養老孟司さんと池田清彦さんによるパネルディスカッションの様子。



## 百年後の未来に里山を残す SATOYAMAと共に生きる EXPO

4月23日(土)・24日(日)に町内企業の石坂産業で100年先の人と自然の関わりを、100団体と入場者1万人がシェアする環境EXPOが開催されました。三芳町も広報みよしを通じて発信している「里山」をブースでPR。このほか三富今昔村や交流プラザといった「三富」の歴史を肌で感じることができます。詳しくは石坂産業(☎049-259-6565)にお問い合わせください。

↓子どもたちの安全を願い、トラック型の防犯ブザーを贈呈しました。



## 光るトラックが子どもを守る トラック協会 防犯ブザー贈呈

4月20日(水)、埼玉県トラック協会が、三芳町の小学校新1年生に「光るトラック型防犯ブザー」を贈呈。日頃から、交通安全教育や社会貢献に取り組んでいるトラック協会。「今後はより、町や地域、警察と協力し、子どもの安全を守る取り組みをめざします。トラックのイメージを、事故を減らし「危ない」ではなく、「カッコいい」に変えていきたい」と支部長は話しました。

広報に掲載された人で希望者には、写真を差し上げます。秘書広報室 ☎049(258)0019(内線312)まで